

生涯学習センターを区直営に(2023年度) 年間1000万~2000万円の経費削減に



第八峡田小学校と第一峡田小学校を統廃合して、一峡の敷地に現峡田小学校を建設。八峡はそのまま残して「生涯学習センター」として1997年7月1日にオープンしました。

2003年まで区直営でしたが、2004年からは(株)読売・日本テレビ文化センターに業務委託、その後指定管理で運営しています。

一方、荒川コミュニティカレッジ講座は、サンパール荒川6階研修室を中心に開設以来10年間、直営で開催してきました。

2023年4月1日から生涯学習センターの機能とコミュニティカレッジを統一して、区直営に戻して新しく運営を行うことになりました。

区民カレッジが「有料化」?

申し込みが多く抽選になることもある区民カレッジ。下の「西洋美術早わかり」は定員60名に116名が申し込み。受講は無料、資料代だけでした。区は、欠席者も多いなどから有料化を検討しているようです。



みなさんのご意見をお寄せください。



受付などは、業務委託を考えています。生涯学習センターを直営に戻すことで年間1000万~2000万円の経費削減になるとのことです。

これまで民間のノウハウを生かし経費削減にもつながるとして、業務委託や指定管理をすすめてきました。しかし、コロナ禍で保健所はもとより、区民サービスや地域の子どもの見守りや遊びの提供など、区の直営事業が強固でなければ、命も暮らしも守れないことが明らかになりました。

区内事業者へのコロナ感染症対策

コロナ感染拡大も3年目に入ってしまった。区内経済の主役である中小業者のみなさんは、大変なご苦労も続いています。荒川区の制度融資も借りて何とか急場をしのいでいます。平常時は100億円程度の融資が、2022年10月現在では163億円となっています。

区の融資だけでなく国や都の融資も多く借りているのが実態です。返済時期が来た時に経済がどうなっているのか、仕事を持ちこたえられているのか心配です。営業の体力をどうつけていくか、事業継続のための支援が今後ますます重要になります。



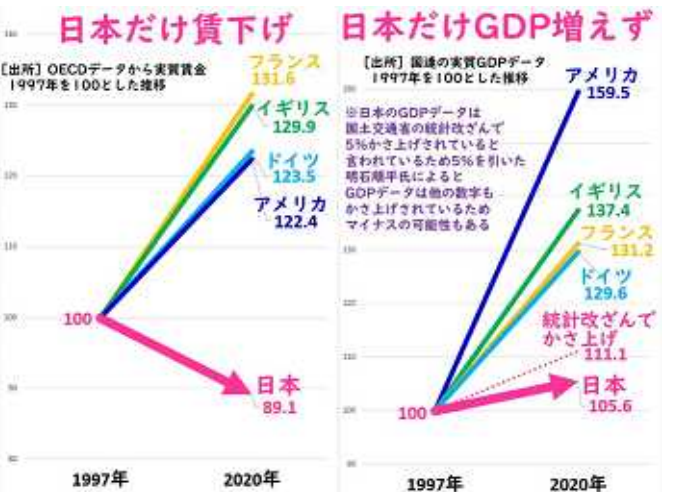
	実行件数	融資実行額
コロナ対策融資 (2020年2月3日~2021年3月31日)	835件	3,439,950,000円
経済急変対応融資(2021.11.13現在) 2021年1月18日~現在も受付中	1360件	9,301,460,000円
設備投資支援(2021.12.28現在) 2020年4月15日~現在も受付中	329件	100,774,000円

「日本だけ賃下げ」… 「日本だけGDP増えず」

日本のGDPデータは、国土交通省の統計改ざんで5%かさ上げされていると言われています。そのかさ上げ分と言われる5%を引くと105.6%と微増という計算になります。

さらに明石順平氏は、GDPには他の数字も「かさ上げ」されているため実際はマイナスの可能性もあると指摘しています。

統計改ざんの動機がよく分かるグラフですね。アベノミクスは粉飾と改ざんそのものです。



《お知らせコーナー》 都営住宅の募集がはじまります

申込書配布期間
2月1日(火)~9日(水)

配布場所
区役所北庁舎住まい街づくり課、区役所1回総合窓口、各区分事務所、各ふれあい館、ムーブ町屋、日暮里サニーホール

申込方法 締め切り
郵送で2月16日(水)までに渋谷郵便局に届いたもの

【募集戸数など】

- 家族向け(ポイント方式)
 - 1375戸 **区内** 町屋5、6丁目、西尾久、南千住をはじめ区内全団地で27戸
 - 他に車椅子使用者世帯向 15戸(区内なし)
- 単身者向、単身者車椅子使用者向、シルバーピア(抽選)
 - 単身者向 245戸
 - 区内** 町屋5丁目1、町屋6丁目1、西尾久8丁目1、西尾久4丁目1戸、荒川8丁目1戸
 - 室内病死などの住宅 西尾久8丁目1戸、町屋6丁目3戸
 - 単身者車椅子 5戸
 - シルバーピア単身向 68戸 **区内** 南千住4丁目1戸
 - 他 シルバーピア世帯向 20戸 車椅子単身向 5戸

申込用紙の記入などお手伝いしますので、ご連絡ください。